

環境保全を願って熱唱



環境保全を考える講演会を開催

ひらかた環境ネットワーク会議、ひらかたエコフェア実行委員会、枚方市が、3月20日、「環境保全を考える講演会とオペラ歌手のナチュラルコンサート」を、ラポールひらかたで開催しました。無農薬みかん作りに取り組んでいる須藤登さんの講演と、オペラ歌手の西村玲光さんのコンサート(写真) ひらかた環境ネットワーク会議の活動紹介など、充実したイベントとなりました。

目次

環境保全を考える講演会	2
中司市長との懇談会	3
各部会&運営委員会の活動	4
特集部会紹介	6
お知らせ	7
団体紹介	8

無農薬みかん作りや地球温暖化の講演&オペラコンサート 自然にやさしい草生栽培法を実践

地球温暖化が及ぼす影響について話を
する
須藤登さん



ひらかたエコフェアの一環として開催

この講演会は、市民、事業者、行政の三者が、地球温暖化など地球規模の環境問題解決のため、現在の大量消費の生活スタイルを問い直すことを目的とした「ひらかたエコフェア」の一環として、平成10年度から開催しているものです。会場となったラポールひらかた大研修室には、ひらかた環境ネットワーク会議の会員をはじめ100人以上の方が訪れ、大盛況となりました。

みかん作りから考えた環境問題

第1部では、和歌山県吉備町で無農薬みかん作りに取り組んでいる須藤登さんが「みかん作りから考えた環境問題」というテーマで講演を行いました。

須藤さんは、30歳で脱サラ後、海外に渡り環境共栄生活法を研究。現在は無農薬有田みかん園を経営する傍ら、全国で環境に関する講演会を行っています。

講演では、須藤さんが実践しているみかんの下にマメ科やイネ科の植物を生やす「草生(そうせい)栽培法」についての説明や、地球温暖化が私たちの日常生活に及ぼす影響、地球温暖化の抑制対策などについてお話されました。

最後に須藤さんは、環境を守る社会システムの必要性を強調し、「アイドリング規制や環境税などを導入すべき。環境に負荷を掛ける人は、それなりの負担を払う必要がある」と話し、講演を締めくくりました。

西村玲光さんが「赤とんぼ」などを熱唱

今回の講演会では、1部と2部の合間に特別パートとして、須藤さんの妻でオペラ歌手の西村玲光さんによる「ナチュラルコンサート」を行いました。

西村さんは、武蔵野音楽大学卒業後、ミラノ国立音楽院を修了。その後、パビーア国際コンクール1位など、数々の国際音楽コンクールで実績を残しています。

コンサートでは、「この道」や「赤とんぼ」などを熱唱、その美しい歌声を会場いっぱいに響かせていました。

ネットワーク会議の取り組みを紹介

第2部は、ひらかた環境ネットワーク会議がこれまでに取り組んできた環境保全の活動や、今後の方向性などを、パワーポイントを使ってわかりやすく紹介しました。



パワーポイントで、ネットワーク会議の活動を紹介します。

中司宏枚方市長との懇談会開催

活動について意見を交換

法人化後も三者協働の堅持を確認



運営委員会と運営スタッフは、3月30日、枚方市民会館会議室で、中司宏枚方市長と懇談を行いました。当日は、運営委員と運営スタッフ9人が参加。午後6時30分から2時間、中司市長と「部会活動の状況」や「将来の方向性」、「三者協働」などについて意見交換をしました。

ネットワーク会議からは「市長はネットワーク会議のNPO法人化についてどう考えるのか?」、「法人化すると行政が離れてしまうのでは?」などの質問をしました。

懇談会では、さまざまな質問や要望を出しました



それに対して中司市長は「三者協働のスタイルは、環境保全都市を実現するうえで、有効であると考え。そのためには継続して協働していくことが必要であり、組織として安定するNPO法人化には賛成。法人化しても行政が手を抜くという事はない」と話し、法人化後の三者協働の堅持を確認しました。

その他「環境総務課以外の行政部局との関係構築」などについて話し合いました。

組織基盤の安定を図るため NPO法人化へ向け準備を進める

運営委員会では、活動の充実や社会的信頼性の向上、安定した組織運営を行うため、ネットワーク会議のNPO法人化を進めていくことに決定しました。

現在、「NPO法人化検討チーム」を中心に、定款の検討や、組織、協働のあり方などについて協議を行っています。

3月23日に開催された第16回運営委員会では、議題をNPO法人化に絞って議論を行いました。「正会員、賛助会員の定義をどのようにするのか」、「各主体に見合った会費設定をした方がいいのではないか」、「理事会の

構成について」、「理事会、運営委員会の機能、役割分担について」、「事務局体制について」、「部会について」など、主に定款の内容や、組織形態について検討しました。

運営委員会とNPO法人化検討チームでは、引き続き、法人化後の組織のあり方や、三者協働について検討していくと共に、法人化のスケジュール策定など、法人化へ向け、詰めの作業を行っていきます。

NPO法人化の動きに関しては、随時ホームページに掲載していきますので、ご覧ください。

●各部会の活動

自然環境部会



ちょっとした気づきを行動に！

「自然環境がよくなればいいな」これは誰もが思っていることではないでしょうか。しかし「どうしたら？」というとなかなか難しいことです。でも私たち市民のちょっとした気づきを行動に起こすことで、環境がよくなるとしたら素晴らしいことです。そこで今回は、会員 W.T さんの「ちょっとした気づきを行動に」の事例を紹介します。

W.T さんは河川の清掃活動のときに見た藤田川の汚染のひどさについて「早急に河川管理者として調査を実施して、原因の究明と対処をお願いしたい」と市に申し入れました。市からは「一部の家屋が公共下水道に接続されていないために浄化槽ならびに排水溝が水路に流入し、藤田川の汚染に関与しているらしい。当核家屋に対しては公共下水道への接続指導を行いました」という回答もあり改善に向けての動きもみられました。ここまではと思われる方も、まずは自分に出来ることから始めてみませんか？

ごみ・エネルギー部会



自然エネルギー学校設立準備WGなどが活動開始

平成 16 年度の当部会は、廃棄物及びエネルギー分野における枚方市の環境基本計画、施策、取り組みを勉強するとともに、個人・団体に既に取り組んでいる活動を部会員間で報告しあい、意見交換をしてきました。その中で今後部会として取り組むテーマは、「廃棄物の発生抑制」「再使用・再生利用の促進」「省エネルギーの推進」「自然・未利用エネルギーの利用促進」「雨水利用の促進」「地球温暖化防止啓発」などに集約されました。これらのテーマを実践・推進する WG (ワーキンググループ)として 自然エネルギー学校・枚方設立準備、 廃食用油リサイクル、 省エネラベル、 地域ごみ減量 (減量等推進員制度)、 生ごみ減量・堆肥化、 資源化物リサイクル、 エコライフの七つのWGが立ち上がり、平成 17 年度に向けそれぞれ活動を開始しました。

公共交通部会



楠葉地域の交通のあり方を検討

○自転車グループでは、駐輪機器を使った駐輪システム・レンタサイクルシステムの開発、実施コーディネートを目指し、検討を進めています。

○バスグループでは、去る 1 月 16 日樟葉駅周辺での交通状況フィールドワークを行い、それに基づき、同地域でバスのスムーズな運行を計る方策について、検討を進めています。今後は市とタイアップして地域を巻き込んだワークショップを行い、楠葉地域の交通のあり方について、検討を進めていく予定です。



樟葉駅周辺でのフィールドワーク